

1 - 平成29年度出水期に実施予定の防災気象情報の改善の概要

防災気象情報の改善（平成29年度出水期予定）

基本的方向性

社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなくとも発生のおそれを積極的に伝えていく。危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方（平成27年7月29日）より

改善 危険度を色分けした時系列

今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
危険度を色分け

【現在】
注意報・警報
(文章形式)

【改善策】

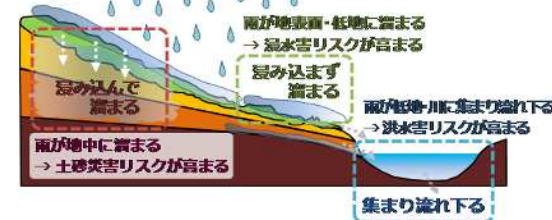
平成××年×月×日 11時××分××気象台発表
××市 【発表】大雨（土砂災害、浸水害）、洪水警報
高潮注意報
【継続】暴風、波浪警報、雷注意報

	今日					明日			
	9時	12時	15時	18時	21時	00時	03時	06時	09時
雨量(mm)	10	30	50	80	50	30	10	0	0
大雨 (浸水害) (土砂災害)									
洪水									
風 陸上(m/s)	15	20	20	25	20	20	15	12	12
海上(m/s)	20	25	25	30	25	25	20	15	15
波浪(m)	4	6	6	8	6	6	4	4	3
高潮(m)	0.6	0.6	1.3	1.8	1.8	0.6	0.6	0.6	0.6

改善 メッシュ情報の充実・利活用促進

メッシュ情報の利活用促進
災害発生の危険度の高まりを評価するメッシュ情報の技術の開発（表面雨量指数・流域雨量指数）

【降雨により災害発生の危険度が高まるメカニズム】



メッシュ情報の技術を活用した大雨・洪水警報の改善
大雨警報(浸水害)・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度が高まっているかを確認できる危険度分布の予測(メッシュ情報)の提供



メッシュ情報の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善

改善 「警報級の可能性」の提供

夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高くなくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付		明朝まで	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性	雨	中	-	-	中	高	-
	風	中	-	-	高	高	-

2- 市町村ホットライン

災害時における気象情報等のホットラインによる即時的な解説

- ・極めて重大な災害の発生が予想される場合に、電話により気象台長等から首長等に対して気象状況の解説を行い、避難勧告等の判断の参考にしていただく事としています。

気象台から電話させていただく状況の目安

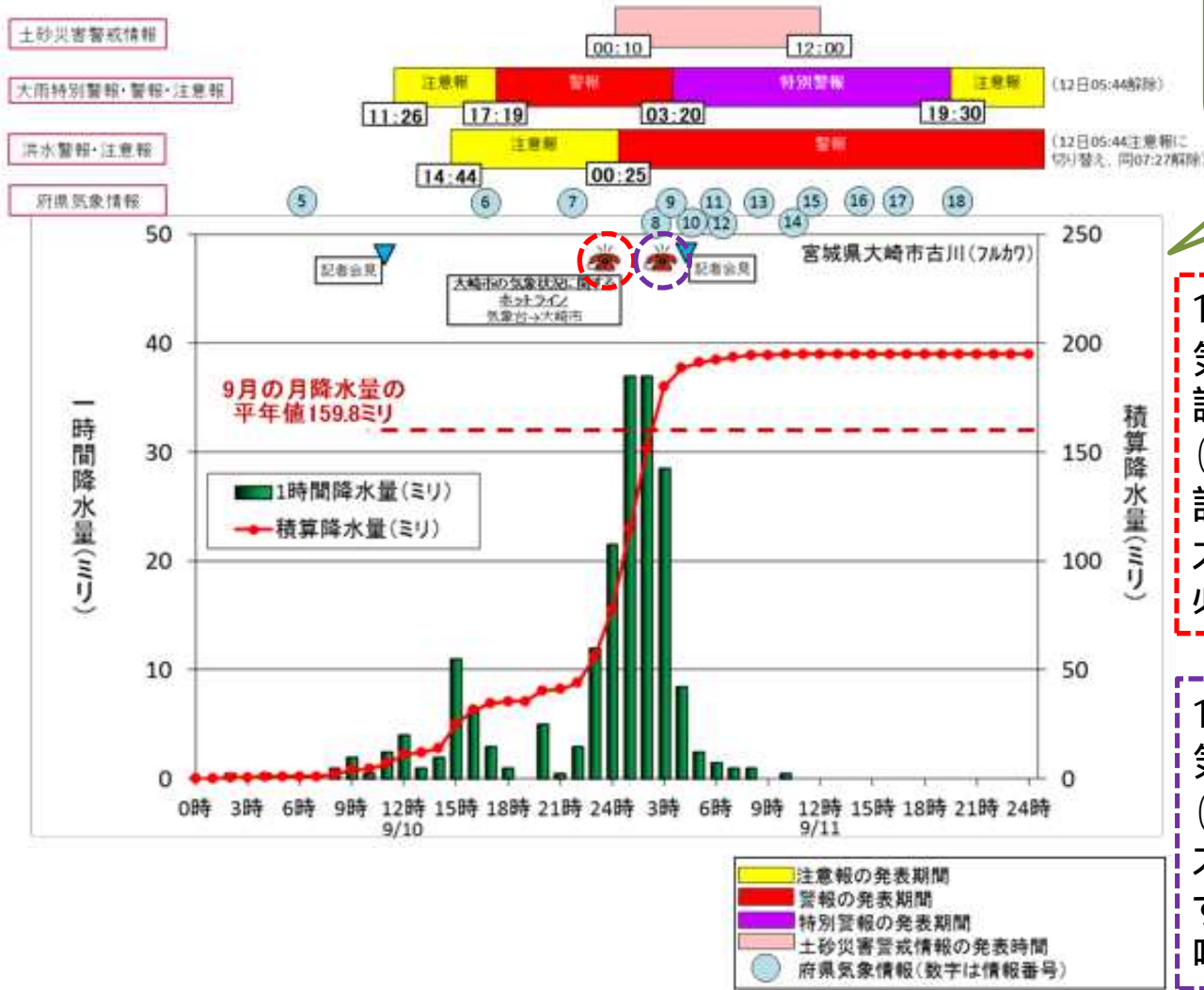
目安 特別警報を発表する又は発表した場合。

目安 特別警報に至らないまでも、既に警報や土砂災害警戒情報で十分警戒を呼びかけている状況下で、更に災害の危険性が切迫した場合等。

- ・上記の取り組みについて、今後も実施しますので、あらためてご理解いただきますとともに、連絡先等に変更があった場合にはお知らせください。

2- 平成27年9月10日から9月11日にかけての大崎市東部の大雨等に係る警報等発表状況

●宮城県大崎市東部に関する警報等発表状況と 宮城県大崎市古川(フルカワ)の観測値



平成27年9月関東・東北豪雨
では、気象台から宮城県の
危機対策課と県内の市町村
にホットラインを行った。

10日23:35 大崎市へホットライン
気象防災情報調整官 防災安全
課係長
(内容)
記録的な大雨になっている事と、
大雨災害に対する厳重な警戒の
必要性を伝達した。

11日02:55 大崎市へホットライン
気象防災部長 大崎市長
(内容)
大雨特別警報(03:20発表)を発表
することを伝え、最大級の警戒を
呼びかけた。